

NS-DAS-16 system マルチデジタルカウンター



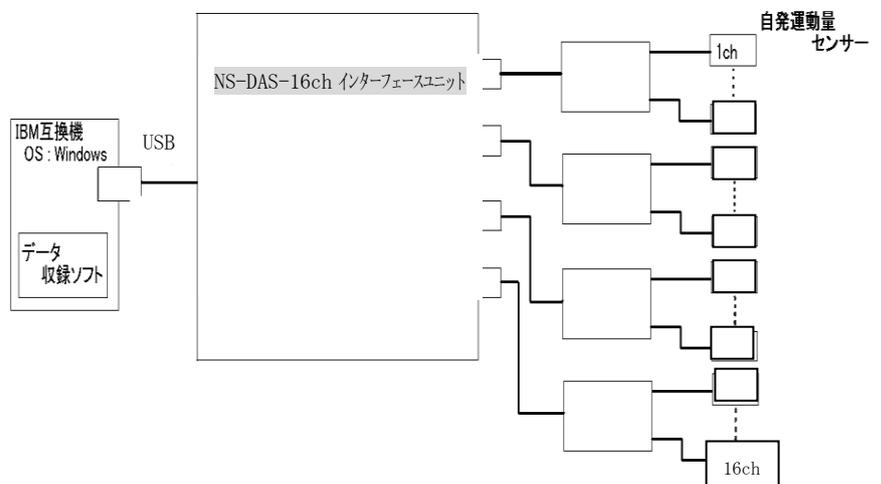
本システムは、弊社製自発運動量センサーや、回転かご、飲水センサー、摂食センサー等と接続し、動物の行動量や、飲水量、摂食量などを単位時間ごとに記録することができます。チャンネルごとに独立スタート、ストップが行えるため、薬物投与等による短期行動量の変化を効率的に測定できます。

<特徴>

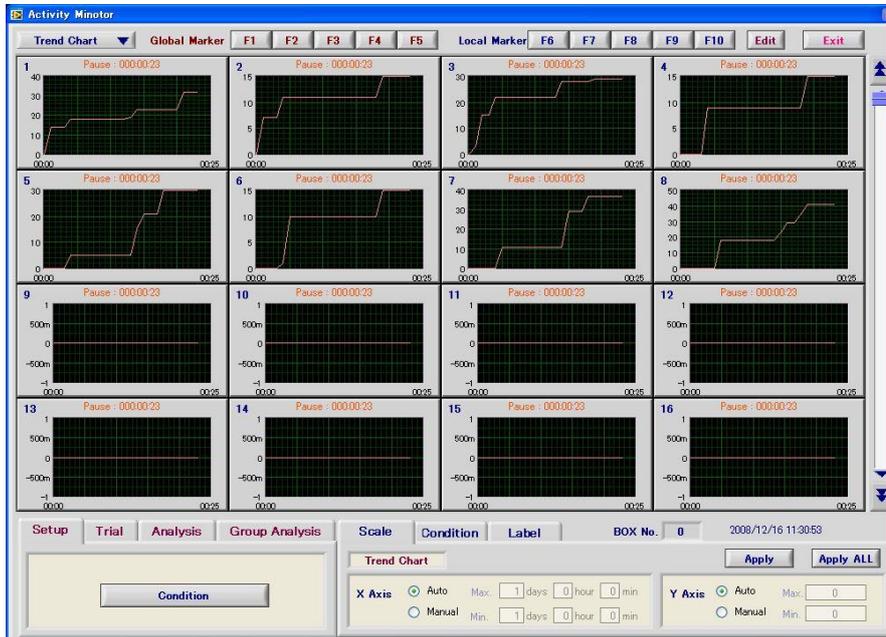
- ◆ 1台のコンピューターにユニットを増設するだけで、最大 16 チャンネルまでのデータ記録ができます。
- ◆ 入力装置はカウンター出力を持つ機器であれば接続可能です。
- ◆ システムは USB で通信していますのでノイズその他に非常に強く設計されています。

<仕様>

最大計測時間 : 収録用パソコン HDD 容量に依存
 サンプリング : 1分~60分
 最大 : 16チャンネル
 サンプリングレート: 8ch / 5msec
 コンピューター : IBM 互換機
 動作環境 : Windows 10



<Act-1 Light ソフトウェア>



データ出力項目

収録開始年月日、
サンプリングインターバル(分)
サンプリング回数
収録時間、オペレータ
実験条件、CH名
収集開始時間、動物番号
薬物(名称、投与量、単位)

コメント

カウント数(インターバル区切)
積算カウント数

- ◆ 16hのカウントを収録し、1chを1ファイルとして保存します。
- ◆ 16ch単独測定が可能です。他のチャンネルが測定中でも必要に応じて測定を繰り返す行うことができます。(但しサンプリングインターバル、測定時間は固定)
- ◆ 保存されたデータは直接エクセルで呼び出すことが可能です。
- ◆ 1chごとの解析とは別に、複数chを指定するグループ解析機能が有り、データ整理を省力化します。

※推奨オプション



実験動物用自発運動量センサー(焦電型赤外線センサー)

感度の信頼性、再現性がよく、感度調整は不要です。センサーに対して赤外線を放出する生体(非生体)が移動すれば、センサーは反応を出力します。反応は移所行動としてとらえています。

NS-AS02